

遠野長寿だより



思い出の一枚 ～長寿の森踊鹿 つるしびな見学より～

→ 社会福祉法人とおの松寿会 →

○ URL ・ <http://www.t-chouju.jp>

○ E - mail ・ hjimutyo@t-chouju.jp

社会福祉法人とおの松寿会 経営の基本理念

地域の高齢者が、安全で快適な生活が送れるよう事業目的に沿って以下を実現し、地域と共に自らも持続発展していく。

- 1 地域の一員として、地域に貢献する。
- 2 地域に開かれ、地域に信頼される。
- 3 利用者が尊厳を持ってその人らしい自立した生活が送れるよう支援する。
- 4 常に利用者の立場に立ち創意工夫して行動する。
- 5 対人援助業務を通じ、人間として成長する場を創ると共に、安定した雇用を創出する。

ミッションステートメント(職員の心構え)

私たちは、思いやりを持って、創造性豊かに行動することに、深い満足感を覚える。

- 1 私たちは、案じる気持ちを持って行動します。
- 1 私たちは、清潔を大切にします。
- 1 私たちは、創意・工夫をモットーに自己研鑽に努めます。

○特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 老人短期入所施設遠野長寿の郷 老人デイサービスセンター長寿園
生活支援ハウス長寿園 居宅介護サポートセンター長寿園

〒028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩18-7

TEL 0198-63-1770 FAX 0198-63-1815

TEL 0198-63-1816(デイサービスセンター長寿園)

TEL 0198-66-3211(居宅介護サポートセンター長寿園)

○養護老人ホーム長寿の森吉祥園 デイサービスセンター長寿の森踊鹿 ヘルパーステーション長寿の森

〒028-0501 岩手県遠野市青笹町糠前9-7-67

TEL 0198-62-2028(吉祥園) FAX 0198-62-0759

TEL 0198-62-0755(踊鹿)

○小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵 グループホーム長寿庵 在宅介護支援センター遠野

〒028-0521 岩手県遠野市材木町2-22

TEL 0198-63-1328 FAX 0198-63-1338



とおの松寿会 理事長 松田功

今年度は、当法人に取って過去に例のない厳しい年と思います。その理由は、国の改正社会福祉法の施行にあります。一般企業の商法と真逆の改正です。又、去年より実施されている介護給付の減額は大問題です。この減額により、全国の小規模施設で107件の破たんがありました。国が、強者の理論を押し付けた身勝手な政策です。単純に給付額を減らせば国の財政が助かるという理論は弱者切り捨ての理論です。

国は、財政が厳しいと言いますが、元財務省の役人であった高橋洋一氏は国の借金1千兆円は単式簿記で述べていますが複式簿記上の資産勘定ではいつでも換金できる金融資産があり健全財政であると述べていました。

このように我々は国から騙されています。しかし、既に減額が実施されていますので、我々は何らかの対応をして生き残っていかなければなりません。

ここで私が言いたいことは、国の制度の変化に気付かないで漫然としていたら経営危機に陥って破綻するという事です。

そこで今年は、松田主任相談員をチーフにして経営改革プロジェクトチームを立ち上げました。2～3ヶ年程で職員の削減や物件費の縮減を検討するように指示しました。このプロジェクトが成功しなければ5年後あたりから深刻な経営になると思います。

何故なら、今後人件費等の高騰は避けて通れません。又、様々な経費も増え1億円ほどの収支差額が無ければ、施設の運営は出来なくなるとの危機意識を持っているからです。

今回のプロジェクトチームのメンバーは、自ら申し込んできたポジティブ志向の意識のある方々ですので、私は大変期待をしています。

又、厳しい中でも利用者様やご家族様に「共感」を得るような介護を今後も模索していかなければならないと思います。皆さんは、私の考え方が矛盾していると考えていると思います。職員が減ればご家族様が「共感」するきめ細かい介護は出来ないと考えると思いますがそれを克服しなければなりません。

皆さんは新幹線の清掃員の掃除の仕方に感銘を受けませんか。アメリカの「ハーバード大学」のMBAの講義に使用しているそうですが、新幹線がホームに着き乗客が下りた後、清掃員は僅かな時間で車内を清掃しています。何故出来るかですが、これはマニュアル化して無駄な行動を省いているからです。

介護も同じだと思います。思いやりのある介護の仕方を更に進化させて新しいマニュアルを作り、徹底した無駄を排除する事で達成できると思います。

特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 施設長 菊池浩之

おかげさまで、遠野長寿の郷が開設して、16年目の春を迎えることになりました。これもひとえに皆様からのご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、この4月には、新採用職員1名が新しく仲間入りしております。介護職を目指す人が減り、人材不足が叫ばれる中、優しい気持ちで、志高く、高齢者の支援に興味を持って当法人を自ら選択していただいたことを大変嬉しく思っております。職員全員で歓迎しております。

介護の仕事は、大変であるというイメージを持っている方が多いかもしれませんが、利用されている高齢者の方々の支援をする中で、介護技術だけでなく、ご本人の思いに寄り添いながら多くのことを学べる素晴らしい仕事だと思います。現在、多くの介護職員が、それぞれに誇りを持って働いています。新人職員にも、同じ気持ちで、「ここで働けて良かった。」とと思っていただけるように、先輩職員が全面的にサポートして、一緒に悩み・共に笑いながら現場で学んでほしいと思っています。新しく若い職員が仲間入りしたことをきっかけに、ますます、職員全員で新しいことにチャレンジして、ワンステップでも成長してほしいと期待をしています。また、私自身も努力し、「チーム長寿の郷」をバックアップしていきたいと思っています。

ただ、大きな期待を持ち、新年度がスタートしましたが、社会福祉法人の運営に対しては、様々な課題が多くあります。制度改革により、①経営組織のガバナンスの強化、②地域における公益的な取り組みを実施する責務、③事業運営の透明性の向上、④財務規律の強化など取り組むべき内容が示され、現在まで準備を重ねてきております。これらについては、周囲からの期待の表れであると認識して、さらに、地域の皆様に信頼される法人・事業所になるよう継続して努めていきたいと思っています。

その中で、当法人の中心拠点となる遠野長寿の郷では、長期・短期・通所・居宅支援と事業を運営しておりますが、事業所も地域も共通して、利用者様の重度化への対応、看取りケアの体制整備と実践、認知症ケアの実践・支援、地域包括ケアシステム構築に向けた関係機関との連携など複数の課題・実践テーマが挙げられております。私も職員は、それぞれの職種や役割を自覚して専門職として力を発揮し、地域にどのような形で貢献できるかを模索しながら高齢者支援に取り組んでいきます。

今年度も基本理念のもと、皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしが継続して送れるよう職員一同、一丸となって実践して参りますので、尚一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。地域に開かれた法人・施設経営に努めることをお約束して、年度当初のご挨拶にといたします。

養護老人ホーム長寿の森吉祥園 施設長 遠藤利則

29年度の始まりにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平素は、法人並びに長寿の森の運営に置かましては、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度から遠野市でも介護予防・日常生活支援総合事業がスタートします。この中で私たちに関係するのは、介護予防通所介護、介護予防訪問介護に替って、市の事業として第1号通所事業、第1号訪問事業を提供するという部分です。デイサービスセンター長寿の森踊鹿とヘルパーステーション長寿の森では、介護の有資格者によるこれまでと同様のサービスを提供しますが、ボランティア団体などによる低料金のサービスも提供できるようになりました。現時点では、まだそのような団体は出てきていませんが、何れ出てきた時は一部の内容で競合することは目に見えています。

専門職だからこそできるサービスを提供していきたい。そんな思いから、デイ踊鹿では昨年秋より土曜日営業と作業療法士による個別機能訓練を開始しました。法人として見れば、月～金曜日の営業に加え、土曜日にはデイ踊鹿、日曜日はデイ長寿園と、一週間をカバーできる体制が整ったこととなります。また、デイ長寿園でしか行っていなかった個別機能訓練を要支援、軽度要介護者のご利用が多いデイ踊鹿でも行うことによって、機能の維持、向上が期待されます。

デイサービス、ホームヘルパー両事業とも、今後ますます在宅高齢者の生活を支える事業として重要になって参ります。

最後に、長寿の森の中核となる養護老人ホームの長寿の森吉祥園ですが、当法人が遠野市より運営を引き継いで13年。遠野市時代を含めると実に50年を迎えます。状況としては、一昨年辺りから待機者が次々と入所し、一時、待機者がゼロということもありました。しかし、特養ホームに入所できるのが要介護3以上となり、その影響からか、28年度末には養護ホームへの要介護1～2の方の入所申請、入所待機が増えてきました。新たに入所される方の特徴は要介護者でかなり高齢であることです。これまで施設で暮らしてきた方たちの高齢化、要介護度のアップと合わせて考えると、養護ホームでありながら特養ホーム並みの介護力が必要であること、また職員数に直結する介護供給量が課題となっていきます。

今後とも長寿の森では、これらの課題を一つずつ乗り越え、利用者様一人一人が、それぞれの暮らしの場で、ご自身が望む暮らしが継続できるよう支援して参ります。

地域密着型サービス拠点 施設長 山口恵美子

陽春のころとなりました。材木町自治会をはじめ、地域関係機関・市民の皆様には当事業所の運営、活動に心温まるご支援ご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

本年で長寿庵は開所11年目を迎えました。これまでの10年間の経験や体験を踏まえ、グループホームのご利用者様お一人お一人が役割をもてる共同生活を支援していく中で、一緒に笑い一緒に悩み一緒に道をみつけていきたい。また、「原点回帰」をキーワードに、認知症のご利用者様が地域社会にとけこみ、その人らしい生活を継続できるようご利用者様を寄り深く理解したケアを強化していきたいと考えております。

小規模多機能では、在宅介護支援施設の切り札として、また認知症ケアの専門家集団として住み慣れた自宅での生活継続の必要性を考え、通い・訪問・泊りを柔軟に活用できるよう、初心・原点に戻り再確認していく年度にしていきたいと考えております。さらに、介護予防の観点から、日々の活動プログラムに「楽しさ」だけではなく「改善」をプラスし、元気で健やかな生活を継続してもらえようご利用者様を理解し、関わっていきたいと考えております。

また、在介支援センターでは、従来の在宅支援事業のほか、新たに生活支援コーディネーターの委託も受け、遠野町の高齢者の生活支援サービスを一から構築し、生活課題の改善に向けての資源開発・ニーズ把握に取り組んでいきたいと考えております。

ご利用者様は何らかの身体的な病気や認知症によって、その人らしい「輝き」が希薄になり、本来の持っている思いを表出することが困難になっています。心身の状況、希望、置かれている環境に応じ、体調管理に留意しつつ、ご家族・住民・地域との繋がりを維持継続し、埋もれている思いを一緒に見つけ出していきたいと考えております。

グループホーム・小規模多機能・在介センターの3事業の特色を活かし、「庵コール」「なごみカフェ」で認知症や介護についての啓発活動や相談ができ、人と人との関わりを大切にした施設運営を行っていききたいと考えております。

ご利用者様が笑顔で過ごせますよう全職員で努力してまいりますので、今年度のご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム 遠野長寿の郷



菖蒲町の様子です。2月初めに豆まきを行いました。鬼が怖かった様で、涙を流し「怖かったね」と話している方もいました。

2月の誕生日会には、あんこ焼き作りを行いました。職員が上手にひっくり返すのを見て、「上手、上手！」と手を叩きながら褒めて下さいました。出来立てを食べ、「美味しい、美味しい」と言いながらおかわりをしていました。

山吹町の様子です。たこ焼き作りを皆で行いました。生地を混ぜたり、たこ焼きをひっくり返したりと、楽しそうに行っていました。「美味しいね」と喜んで召し上がっていました。

また、誕生日会&おやつ作りでプリン作りも行いました。トッピングの具材を切ったり、出来る方は、盛付けをしたりと、表情もとても良く、楽しそうに行っていました。



柑子町の様子です。2月に恵方巻き作りを行いました。いつもは見ていただけの方も、職員と一緒に作ることが出来ました。作る前は不安そうだったり、「出来ない」と言う方もいましたが、作り始めると黙々と真摯に行っていました。上手に出来、とても嬉しそうでした。

手作りの恵方巻きは、昼食に皆で食べました。「美味しいな」「うめえ」と言いながら嬉しそうに召し上がっていました。

紺町の様子です。今回はおやつ作りで、桜餅を作りました。職員が生地を作り、焼き上がりを楽しそうに眺めて見たりしていました。

皆さん、「美味しい！」と言いながら喜んで召し上がっていました。



デイサービス通信

老人デイサービスセンター 長寿園

2月4日《立春》 暦の上では春の始まりとされ、徐々に暖くなり、ウメの花が咲き始める頃とされています。日も長くなり、春を感じるようになりましたね。

2月の活動について紹介します。

※ 節分



◆「鬼は外、福は内」豆まきをして厄払い

※ おやつ作り・軽体操



◆「お好み焼き」の具材をしっかりと混ぜましょう。



◆長寿園の定番「いちご大福」

地域活動 ## ～土淵町こがらせ園～



自宅でも出来る体操を紹介し、一緒に体を動かしています。介護予防の一つとして、職員が現地へ出張し、地域の方々と活動を楽しんでいます。

※ 作品づくり(お雛様制作)



※ 土淵町山口部落 婦人部の皆様来園



◆建前の際に踊られていた「どんづきつき」を披露。



↑目に見えるような語り口でお話して下さいました

※ ゲーム(スカットボール)



◆スティックさばきが素晴らしい!!

高得点ができましたね (*^。^*)

茅町 ショートステイ

2月・3月の活動の様子を紹介します！



☆ちらし寿司作り



☆すき焼き作り



▲具材を切っています。

☆お茶会



▲今日は3月3日桃の節句です！



▲今日の夕飯はすき焼きです！



▲お茶を点てて、いただきました！

養護老人ホーム 長寿の森吉祥園・ライサービスセンター 長寿の森踊鹿

活動紹介

3月3日

吉祥園・ひな祭り茶会



皆でお茶を点てました。



結構な、お点前です。



お内裏様とお雛様^^

2月24日～3月2日

ライ踊鹿・つるしびな見学



遠野市総合福祉センターで行われていた【松崎ひなまつり】に行ってきました。

椿ドライブ IN 大船渡

去る三月一五日、長寿庵のご利用者様と一緒に、春を探しに行ってきました。最初は大船渡の基石館で椿見物をしました。例年以上に綺麗に咲いた椿を見て「このお花、私の顔くらいある」と大はしゃぎのご利用者様もいらっしやいました。椿を堪能した後は、レストハウスでおやつをいただき、展望台で雷岩見物もしました。

帰り道では陸前高田の復興状況を見ながらの帰途となり、帰ってきてからは「連れて行ってくれてありがとう」という言葉をいただきました。



ひな祭り茶会

3月6日、毎年恒例となる長寿庵のひなまつり茶会を開催いたしました。長寿庵2階の和室を飾りつけ「さくらさくら」や「ひなまつり」などのBGMをかけて桃の節句を楽しみました。職員も行事にふさわしい和装のいでたちで、利用者様から「似合ってる、きれいだよ」などのお言葉をかけていただきました。

今年はお抹茶のお供に生菓子を準備したので、抹茶を飲めないご利用者様も喜んで召し上がっていらっしゃいました。

普段と違う雰囲気を楽しんでいただけたようで、ご利用者様の喜ぶ顔を見ることができました。



2月・3月状況

○ボランティア
なし

○寄付品紹介

・遠野長寿の郷

遠野小学校6年生PTA様
フラワーアレンジメント
(5セット)

ありがとう
ございました！



とおの松寿会の
ホームページを
ご存知ですか！

ホームページでは、とおの松寿会各施設内の行事活動の様子や、お知らせ、求人情報などをご覧いただけます。

とおの松寿会

検索



遠野長寿の郷 生活相談員の介護バカ日誌⑥

ためこみ過ぎは心身に良くない、と思う今日この頃です。ストレスはもちろんです。お金、情報、知識、悩み、脂肪など、特にう〇こは、禁物です(笑)。毎日または時々出さないとダメですね。インプット(入力)ばかりを意識して詰め込みすぎると、インプットとアウトプット(出力)のバランスが崩れ、いずれ体調や生活に支障が出てしまいます。

今、インターネットでいつでもどこでも情報を得られ、人となることができると。普通に暮らしていてもテレビや新聞などで新しい情報、知識にあふれています。とても嬉しいことですが私は、ここ数年たくさんの人との出会いと縁があり、そしてSNSなどのつながりを通じ、元々少ない容量なのに100ギガくらいの情報いっきに頭にインプットしたような気がします。その結果、インプットの比重が大きくなり過ぎ、頭の回転が鈍り、アウトプットする余裕がなくなってきたと自覚しています。元々アウトプットが苦手な方ではありませんが・・・いわゆる「便秘状態」です。

「便秘状態」が続くとどうなるか？腸内に悪玉菌が増えたり、全身の血行が悪くなったり、自律神経の働きがみだれたり。そして、肌荒れ、イライラ、不快感、肩こり、だるさ、食欲低下など心身に様々な悪い影響が出てきます。便秘を解消するには、まず、う〇こを出すことです。そうは簡単に行きません。食物繊維を多く含む食事をしたり、適度な運動で腸の働きを促したり、水分を多くとったり、ツボ刺激をしたり何かしらの方法を行わなければ、う〇こは出ません。

あれれ？ずれましたので話を戻しまして・・・要は何を言いたいかというと、インプットよりアウトプットを意識して行うということ。アウトプットする方法として、出来事を日記にしたり、人に話して伝えたり。文字や言葉としてアウトプットすることで、思考を整理され、理解が深まり余白ができると言われます。

例えば、こんな事例もあるようです。米国の研究では、復習に関しては、教科書を復習するよりも、問題集を解く方が効果的であることを示す論文が発表されています。つまりインプットを繰り返すよりも、アウトプットを繰り返すほうが、脳の回路への定着が良いということ。

なので、今年度の私の目標は、少し女子的になります。その日に会った出来事や人、感じたこと、明日の目標などを毎日、秘密日記に付けることにします。また、夫婦間の会話も1.5倍増しでアウトプットしようと思います(笑)

一方で、私に限っては、お金は少しためた方が良いのかなと反省する今日この頃でもあります。

★ 目次 ★

長寿だより 87号

○表紙

「デイサービス踊鹿

つるしびな見学」

・ 1

○特集コーナー

「とおの松寿会

新年度のご挨拶」

・ 2、3

○遠野長寿の郷

「菖蒲町・山吹町

柑子町・紺町の様子」

・ 4

老人デイサービス長寿園

「デイサービス通信」

・ 5

茅町(ショートステイ)

「活動紹介」

・ 6上

○長寿の森

長寿の森吉祥園

デイサービス踊鹿「活動紹介」

・ 6下

○長寿庵

「3月の長寿庵」

・ 7

○その他

「ボランティア・寄付品紹介」

「ホームページについて」

「相談員の介護バカ日誌⑥」

「目次」

・ 8